

公益社団法人酒田青年会議所

酒田の未来創造伝導室 基本方針

室長 阿曾 義剛

1 慶長14年に始まり酒田大火の時も欠かすことなく続けられてきた酒田まつりは、市民
2 の誇りであり、酒田青年会議所も長年に渡り山鉾の巡行や企画運営において参画をし、歴
3 史継承の一翼を担ってきました。歴史と伝統、酒田（まち）を愛する想いと共に誇れる伝
4 統を後世へとつなぐ役割を責任世代の我々が、新たな酒田まつりの未来像を市民が主導す
5 るまつりとして創造し、市民へ伝導してまちづくりの根幹として取り組む必要があります。

6 まずは、市民主導型の酒田まつりを実現するために、実行委員会に市民や協力団体とと
7 もに運営組織を立ち上げて主体的に参画し、市民が率先して企画・運営段階から参加でき
8 る開かれた組織構築を行います。そして、酒田まつりにかけた先人達の想いを次世代へ伝
9 導していくために、市民に対して酒田まつりの歴史や伝統を伝え、実際に山鉾製作や修繕
10 作業に携わっていただく機会を創出するとともに情報の発信を加えて、酒田市民としての
11 誇りと気概をもつ機会を創出します。さらに、山鉾を酒田まつりの中心的存在とするため
12 に、継続した立て山鉾事業の実施と、他団体と協働した事業展開をはかり、酒田まつりの
13 本祭りにおいて市民に向けた発信を行います。また、今まで磨き上げてきた山鉾を地域の
14 たからとして昇華させていくために、情報発信と展示を行う施設として「酒田歴史資料館
15 構想」を提唱し、協力団体や酒田市民を巻き込んだ意見交換会を通して実現に向けた取り
16 組みを行います。そして、酒田まつりへの観光客を誘致するために、山鉾を核とした酒田
17 まつり事業の発信を、県内外の公共交通機関の協力やメディアを有効活用して実施します。

18 市民主導型のまつりを実現させ、新たな酒田まつりの未来像を市民とともに描き、人と
19 ひととのつながりの中で自発的な運動が伝播され、まちへの誇りが生まれます。明るい豊
20 かな社会に向け、我々は責任世代として、信念をもって、地域の未来を創造していきます。